

## 平成26年度 学校評価

[各校の重点取組について]

- (1)自分と他人を大切にできる豊かな心を育てる。      (2)確かな学力を身につけさせる      (3)良い生活習慣を身につける  
心身ともに健康な生徒を育てる。

### 学校教育に関する重点取組

<b>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる</b>	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
(1) 授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する (2) 特別支援教育充実の取組を促進し、自立や社会参加に向けた主体性を育成する (3) 校種間連携の取組を促進し、滑らかな成長を推進する		
取組とその成果	課題と改善策	
・朝学習の設定と年度当初に年間授業時数を明示する。 ・校内での公開授業を活発化するとともに授業改善アドバイザー等を利用する。 ・水曜放課後、テスト前チャレンジの実施する。 ・家庭での学習時間増加に向けて、宿題点検等の指導強化を図り、保護者に家庭学習の充実を啓発したり実態調査結果、考察を生徒と保護者に通知する。 ・数学、英語で少人数指導やTT授業を実施する。 ・特別支援委員会やケース会議で情報交換等を行い、職員会議等で全教職員の共通理解を図る。 ・小中で道徳や教科授業の相互参観、出前授業や夏季合同研修、小6児童クラブ体験を行い小中連携をより一層進める。		

<b>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</b>	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
(1) 道徳性育成の取組を促進し、良好な人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める (2) 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、問題行動の未然防止を図る (3) 相談体制充実の取組を促進し、不適応行動への早期対応及び長期欠席の改善を図る (4) 進路指導充実の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する		
取組とその成果	課題と改善策	
・年間計画に基づいた道徳の充実や実践事業研究に参加する。 ・業務改善をより一層進める。 ・年2回の教育相談を実施する。 ・生徒指導委員会、不登校委員会等の会議を統合する。 ・「進路ノート」の活用を行う。		

<b>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</b> (1) 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する (2) 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
取組とその成果	課題と改善策	
・4月職員会議で食育推進通知や食育全体計画、市の施策等を提示し、職員への意識付けを図る。 ・教科体育の充実と体育的行事を全教員で取り組むことにより体力、運動能力への関心を高める。 ・保健だよりを学活等で利用する。 ・スポーツテスト結果を生徒にカード等で還元し活用することにより体力づくりに関心を持たせる。 ・クラブ通信発行や外部指導者の活用によりクラブ活動をより活性化させる。		

<b>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</b> (1) 安全教育の取組を促進し、登下校及び校内の安全確保を図る (2) 防災教育充実の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
取組とその成果	課題と改善策	
・登校指導は、正門前だけでなく周辺まで行う。 ・月末の安全点検を実施する。 ・朝礼や集会、学活での安全指導を行う。 ・年2回の防災訓練実施の際、事前事後指導を充実することや関係機関との連携を行う。		

<b>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</b> (1) 教職員の資質向上の取組を促進し、学校の組織力向上を図る (2) 地域資源活用の取組を促進し、開かれた学校園づくりを図る (3) 学校評価活用の取組を促進し、学校運営の改善と発展を図る	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
取組とその成果	課題と改善策	
・研究推進委での研修計画的に実施する。 ・各種研修会、研究会参加奨励する。 ・教育雑誌や教育施策に関する情報等を文書で職員に通知する。 ・若手教員の増加により、若手教員校内研修計画を実施する。又、若手教員がベテラン教員の授業参観を積極的に進めよう指導する。 ・個別面談を行うことにより、職員理解と教育活動の点検機会及び経営参画意識を向上させる。 ・教育活動の公開や学級、学年、学校、クラブ便りの発行、ホームページ更新、PTAメール配信を通じて、情報発信に努める。 ・学校評価の職員への通知により、学校運営の改善の一助とする。		

<b>教育目標</b>	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
(1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実		
取組とその成果	課題と改善策	
・朝礼等の機会を通じて、職員や生徒に具体的目標の意識付けを図る。 ・学校たよりや保護者会など機会あるごとに教育目標、目指す生徒像を示す。 ・指導の充実には、振り返りと改善が必要である。常に、指導後の改善作を考慮するように啓発する。		

<b>研究テーマ</b>	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
(1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実		
取組とその成果	課題と改善策	
・研究推進委員会を軸に、共通理解や方策を検討し役割分担を明確にする。 ・自ら学ぶ意欲を持たせるために分かりやすい授業をテーマに授業実践し、校内で公開授業等を行う。		

	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
取組とその成果	課題と改善策	